

「子どもへ愛情込めて」

小樽・かもめ保育園 新園舎完成で講演

小樽市のNPO法人が運営する認定子ども園「かもめ保育園」（藤原名美子園長）は15日、新園舎完成を祝い、記念行事として子育てに関する講演会を開いた。保護者ら約200人が参加し、子どもの発達過程について知識を深めた。

同保育園は旧園舎が老朽化したため、昨年9月から隣接地に新園舎の建設を進めてきた。今年3月に木造平屋一部2階建て約750平方メートルの新園舎が完成。ヒノキの床など木をふんだんに使った開放的な建物で、0～5歳児に対応した教室や子育て相談などに応じる地域支援室などがある。定

員77人で現在は63人の園児が通っている。



記念講演の講師は、不登校の相談などに長年携わってきた神戸大名誉教授の広木克行さん。広木さんは「子どものためって何だろう―思春期を見通して、今子育てに大切なこと」と題して

遊びの大切さ、親の接し方などについて解説。「子どもが寝る前に1日分の愛情を込めてぎゅっと抱きしめて。子どもの話を聞くときはきちんと目を見て聞いてあげてほしい」と呼びかけた。保護者らはメモを取りながら熱心に耳を傾けていた。

（渡辺佐保子）

子どもの発達過程について学んだ新園舎落成記念講演